

交流センターを核とした地域づくりのあり方検討委員会について

交流センターとは（安来市交流センター条例より）

よりよい地域づくりを推進するため、市民が主体的かつ総合的に取り組む活動拠点

議論の必要性 ～なぜ議論が必要なのか～

安来市では、よりよい地域づくりを推進するため、市民が主体的かつ総合的に取り組む活動拠点として「交流センター」を平成19年度に設置した。交流センターでは、地域振興の推進、地区内での活動に関する調整及び支援などを行っており、交流センターを拠点とした特色ある地域づくりを推進し、中山間地の暮らしを支える地域運営の仕組みづくりを支援してきている。

昨今の人口減少や少子高齢化により過疎化が進行しており、今後もその傾向が続くと予想されることから、交流センター単位での地域活動や住民自治機能の維持が徐々に困難となる可能性があり、地域における新たな課題がさらに生じる恐れがある。

そこで、今後行う必要のある、交流センターを拠点とした活動も見据えながら、交流センター職員の関わり方をどのようにしていくのか、また市の支援体制等についてどのようにしていくことが望ましいのか検討を行う。

主な検討内容（案）

- 今後の社会変化による新たに生じる地域課題はどのようなものが考えられるか
- 上記の地域課題を解決するにはどのような活動が必要か

- 住民と一体化した組織づくり
- 地域で安心して生活するための支援体制づくり
- 地域ビジョンの住民との共有
- 学校教育活動と地域との連携
- 地域づくり人材の育成
- 交流センター事業の見直し